

XL150

概要

LaBr₃(Ce)シンチレーション検出器の分解能は約3%@662keVと、標準的なシンチレータであるNaI(Tl)の約2倍です。

減衰時間が16nsと大変短いため、高計数が求められる用途に最適です。

アノード出力とダイノード出力を用意しております。

XL150は結晶に大型の1.5インチ（約38mm）LaBr₃(Ce)を採用して検出効率を高めています。



アノード出力
ダイノード出力

仕様

結晶	LaBr ₃ (Ce)シンチレータ φ1.5インチ×1.5インチ (φ38mm×38mm)
分解能	約3.0% (¹³⁷ Csの662keVピークにて)
ケース材質	アルミ
コネクタ	高圧電源：SHV アノード出力：LEMO* ダイノード出力：LEMO* *LEMO社製ERN.00.250を使用
定格電圧	最大-1000V
外径寸法	φ45 × 195 (mm) コネクタ部除く
重量	536 g
環境条件	使用温度0から40℃、結露なきこと (ただし使用環境による)
付属品	試験検査成績書



専用ケーブル

※写真はイメージです。
※記載内容は予告なく変更することがあります。

